

「SHEP（市場志向型農業振興）アプローチの普及を通じた市場志向型農業振興プロジェクト」 終了式

2025 年 7 月 3 日、「SHEP（市場志向型農業振興）アプローチの普及を通じた市場志向型農業振興プロジェクト」の終了式がマリ国際会議場（CICB）で行われました。式典は、ダニエル・シメオン・ケレマ・マリ農業大臣及び村田優久夫駐マリ日本国大使が共同で開催しました。

日本が約 1 億円を支援する本件では、農産物バリューチェーンの構築、生産者の能力強化、生産者と市場関係者間の持続可能なパートナーシップの促進が行われることで、地方農産物の価値を向上させ、販売に適した農業を普及することができました。さらに、農業普及員への研修が行われ、本案件の裨益者は約 3000 人に上ります。終了式では、農業大臣から日本の支援に対する高い評価がありました。また、参加した農民の収入が上がった経験談も紹介されました。

村田大使は、SHEP アプローチが「新しいマリ（マリ・クラ）」の実現に繋がると述べました。

